**第６９回観察会　2008年12月18日(木) 12:05～12:55　曇り**

**テーマ『植物園の落葉落枝（ごもく）たち』**

**☆ガイドレポート**

京都大学理学部附属植物園にて、2008年12月18日（木）12：00～13：00まで、第69回観察会（テーマ「植物園の落葉落枝（ごもく）たち」）が催されました。薄曇りの空の下、寒さはそれ程には感じられませんでしたが、約30人の方々の参加があり、私たちの話に熱心に耳を傾けて頂きました。

始めにガイド役の私たち3人の自己紹介が、入口の門を入った所でありました。これまでは観察会等で主にスタッフとして参加させていただいてきた3人ですが、今回は落葉の季節でもあり、それにまつはる話などをしてみやうと、ガイド役にチャレンジしてみました。

自己紹介の次に、「京大植物園を考える会」主催の観察会のリストを見て貰ひながら、何故に私たちは今回で69回目を数へる観察会を一生懸命に開催してきたのかと云ふ理由をお伝へしました。それは2002年11月25日（月）～2003年1月13日（日）までに行なはれた園内の樹木の伐採・枝打ちの作業に始まります。その後に「京大植物園を考える会」が発足し、2003年4月10日（木）のお昼休みに、第1回の観察会「春の植物園を歩こう」が開かれた訳です。

そして園内の奥の方へと進み、北側にある広場に皆さんに集まって頂きました。このような広場が園内には三ヶ所あり、そこでは2-3ヶ月に一度大量の枯枝・枯幹・倒木・剪定の際に出る枝や葉を燃やしていたことをお話しました。それらの落葉落枝のことを「ごみ」とは云はずに、「ごもく」（芥・五目）と呼び習わして居て、植木職人や造園業者もさう云って居る事を話しました。しかし2008年夏以降燃やす事が出来なくなり、業者に頼みトラックで引き取って貰ふ事になりました。

最後になりましたが、広場から少し離れた所にある、落葉の集積場へご案内しました。そこは池の北側に在り、タテ4ｍ、ヨコ2ｍの楕円形で深さ約1.5ｍのかなり大きな穴ぼこです。毎年秋になると、それこそ大量の枯葉が地に舞い降りてくるのですが、通路に落ちた葉を掻き集めて、リヤカーに乗せて運び、次々とその穴に投入して行きます。そして時間をかけて腐葉土にして、再利用します。

そして帰りの道すがら、縄文遺跡（墓地）を見て貰ひ、受付に戻り感想文を書いて頂き、お開きとなりました。初めての案内役で緊張し不安もありましたが、皆様の暖かい眼差しに助けられて無事に終へることが出来、本当に有難う御座いました。これからも京大植物園をだうか宜敷くお願ひします。

2008年12月24日（水）クリスマス・イヴ　園丁中島和秀拝

ガイド：中島和秀さん（京都大学理学研究科　京都大学附属植物園園丁）

**☆参加者の感想**

* 久しぶりに自然の森の中に入りました。初めてだったので、これから四季折々のこの植物園の見学を楽しみにしています。ありがとうございました。
(初めての参加、３０～６０才、女性、京都市内のかた)
* もっとゆっくり中島さんの話を聞きたかった。それぞれの仕事について、それぞれの季節に１回ずつ位そのような機会があっても良いと思う。
(参加１０回以上、１８～３０才、男性、京大こころの未来研究センター教員のかた)
* 観察会の歴史を教わり、感動しました。今後とも植物園の維持管理をよろしくお願いします。私達にもお手伝い出来ることがあれば、協力します。
(参加～１０回、６０才以上、男性、京都市外のかた)
* 高校で化学を学んだが、水、川、山、海を化学が汚して来たので今は生物学に興味が移っています。世界一早い突然変異説は、ド・フリースではなくて、日本に三人、歴史的に埋没していますが先駆者が居ます。定延子：宇治黄バク山・万福寺のインゲン豆のインゲン。和尚の持ち帰ったナンキン白ネズミから真黒い大黒ネズミをかけあわせて出している。安藤昌益：形化、化形であらわしている。松森胤保：物理新論で尾生変、枝生変等々で現している。ＧＭＴ04:05:53、惑星直列：-595日、エチオピア暦４月９日２００１年。
(初めての参加、６０才以上、男性、京都市外、一般スポーツボランティアのかた)
* 落ち葉の山の上を歩くのが気持ちよかった。観察会の歴史とご苦労がよくわかりました。参加させてもらって１年と少しですが、過去のテーマも楽しそうなものがいっぱいなので、また復刻（？）でやってほしいです。ありがとうございました。
(参加１０回以上、３０～６０才、女性、京都市内のかた)
* 樹木に興味があり、以前からこの植物園に来たかったのですが、普段は申込制でめんどうです。この観察会なら気楽に入れると思って参加しました。落葉はうちでも堆肥にしています。穴にうめて土をかぶせておくと２年で黒くなります。ありがとうございました。
(初めての参加、３０～６０才、京都市外のかた)
* 次回もまた参加させていただきたいと思います。
(初めての参加、１８～３０才、男性、経済学部学生のかた)
* 色々勉強になりました。
(６０才以上、男性、京都市内のかた)
* とても感動しました。次回もぜひ参加したいと思います。楽しみにしていますので宜しくお願いします。自宅に落ち葉がすごいので、一度大きな穴を掘って腐葉土を作ってみたいと思いました。
(初めての参加、３０～６０才、女性、京大近辺のかた)
* とてもよかったです。
(６０才以上、女性、京都市外のかた)
* 植物園の森は大好きです。変わらなくこの場所が続くよう、中島さんよろしくお願いします。
(参加１０回以上、３０～６０才、女性、京都市内のかた)
* 落葉をふみしめて歩く、何と心地良い！つぐみが、どうしてミミズを見つけるのか、又、楽しみが増えました。良いお年を、来年もよろしくお願いします。
(参加～１０回、３０～６０才、女性、京大近辺のかた)
* いつもの観察会と違い、今日は下（足元、地面）ばかりみて歩きました。落葉の感触を十分味わい気分よかったです。管理人さんの御苦労がわかりました。
(参加～５回、６０才以上、女性、京都市内のかた)
* はじめて園内一周することができてよかったです。木の葉がないので園内をくるっと見わたすことができました。落葉の整理大変ですね、ご苦労様です。落葉は絵になりますね。ありがとうございました。
(参加～５回、３０～６０才、京都市内のかた)
* もう何度目になるかな～。帰りは落葉の布団で眠りたくなる気分でした。どこかの神秘の国にいたようでした。ありがとうございました。又楽しみにしております。
(３０～６０才のかた)
* １．広大な植物園の維持管理が大変なこと、よくわかりました。２．大変ご苦労様です。３．今後とも、末永くこの貴重な資産の維持管理かた、よろしくお願いします。
(参加～５回、６０才以上、京都市内のかた)
* 植物園のいろいろお教え頂き有難うございました。スタッフの方々の植物園の維持管理に感謝します。
(参加１０回以上、６０才以上、男性、京大近辺のかた)
* もう少し専門的な話を聞きたかったです。
(初めての参加、３０～６０才、男性、京都市内のかた)
* 今回もあたらしい発見があって、ほんとうにすてきな森です。落葉がきもちよかったです。
(参加～１０回、６０才以上、女性、京大近辺のかた)
* 中島さんから園の歴史の話をきけて、とても参考になりました。
(１８～３０才、男性、農学研究科昆虫生態院生の方)